

事業報告・収支決算

本会は、平成31年3月に「岩手県社会福祉協議会活動計画2019―2023」を策定し、本会の基本理念である「地域福祉を推進し、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支えあい、自分らしく、安心して生活することのできる、豊かな福祉社会の実現」に向けて、令和元年度は活動計画の初年次として各種の事業に取り組みました。



主要事業の実施状況

県民の生活課題の解決

生活課題を抱える住民の支援

- 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業

住民が抱える生活課題を把握し解決するための仕組みづくりを行う地域福祉活動コーディネーター（以下「CSW」）を新たに36人養成した。また、CSW継続研修会、支え合い

マップ・インストラクター養成講座等により、コーディネーターの資質向上を図った。

- 市町村社会福祉協議会部会事業

県内の市町村社協は複合的な経営課題を抱えているため、法人の理念と基本方針、中期的な組織や財務、事業運営の方針を明らかにする「市町村社協中期経営計画」を全ての市町村社協で策定することができるよう、計画策定ガイドラインの作成に向けた取組を進めた。また、「市町

村社協災害時相互支援協定」を締結するとともに、市町村社協職員による災害対応初動チームを編成し48人が登録した。

- 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者に生活福祉資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。また、3月下旬から、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で生活資金が必

要な方への緊急小口資金等の特例貸付を開始した。

相談支援数434件、貸付決定件数780件（うち緊急小口資金特例貸付74件）

- 福祉人材確保等貸付事業

介護福祉士修学資金等貸付事業、保育士修学資金貸付等事業、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業、児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業を実施し、福祉人材の養成と確保、就職・就労の

支援や自立の促進を図った。

【貸付決定件数（合計）179件】

- IWATE あんしんサポート事業

制度の狭間にいる方々の自立を支援するため、社会福祉法人の種別を超えた連携・協力による新たなセーフティネットとして「IWATE あんしんサポート事業」を実施し、82法人の参画を得て、生活困窮世帯等に対し129件の支援を行った。また、中間的就労の場「就労準備ボランティア」や子どもの居場所「フリースペース」を実施した。

中間的就労：登録11法人、受入8法人、フリースペース：実施3法人

- 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業及び家計改善支援事業を雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町及び矢巾町で実施し、生活困窮者の自立生活の促進を図った。

新規相談303件、自立プラン作成54件、家計プラン作成17件、就労支援対象者25件（うち就労・増収者20件）

東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

- 東日本大震災被災者生活支援事業

東日本大震災被災者の生活を支援するため、県内に生活支援相談員119人を配置し、支援対象4,714世帯に対し訪問等による支援を延べ104,720回行った。また、支援対象世帯のアセスメント表8,078件を集計し、調査研究報告書を発行した。

- 災害復興基金事業

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会及び市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

市町村社協3,901,600円、県社協7,142,832円
※令和元年台風第19号災害支援活動を含む。

- ボランティア・市民活動センター事業

県社協災害ボランティアセンター

（以下「VC」）設置・運営マニュアル及び市町村社協災害VC設置・運営マニュアルを改訂した。また、令和元年台風第19号災害では、災害VCを設置した7市町村社協に本会及び市町村社協から応援職員延べ365人を派遣し運営支援を図った。

令和元年台風第19号災害ボランティア活動者数〔延べ人数〕（単位：人）				
宮古市	久慈市	釜石市	大槌町	山田町
1,239	1,778	1,480	28	864
岩泉町	田野畑村	普代村	野田村	合計
32	206	698	168	6,493

- 災害時広域支援ネットワーク推進事業

災害時に広域的に支援するネットワーク「岩手県災害派遣福祉チーム」の体制強化を図るため、マニュアルに基づく連絡訓練及び局内での派遣初動訓練を行ったほか、チーム員を新たに18人養成した。

福祉人材の養成と確保

福祉人材の養成とスキルアップ支援

- 社会福祉従事者等研修・資格取得講座

福祉サービスを担う人材の確保や育成、福祉従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、介護入門研修、福祉施設のためのリスクマネジメント講座等の各種研修を実施した。

福祉人材の確保とマッチングの強化

- 福祉人材センター運営事業

無料職業紹介所として、求人求職のあつせんを中心に求職者への資格取得や就職に関する相談、福祉全般の情報提供を行ったほか、「介護・保育・福祉の就職相談会」等を通じて求人求職のマッチングを図った。

求人求職相談8,166件、採用者数177人

また、若年層の福祉の仕事への関心や理解を深めるため、小学校、中

令和元年度 一般会計計算書類の要旨

令和2年3月31日現在

貸借対照表		(単位：千円)
科 目	金 額	
資産の部		
流動資産	703,365	
固定資産	15,161,066	
(基本財産)	5,000	
(その他の固定資産)	15,156,066	
資産の部合計	15,864,431	
負債の部		
流動負債	142,546	
固定負債	14,267,089	
負債の部合計	14,409,635	
純資産の部		
基本金	200	
基金	96,185	
国庫補助金等特別積立金	1,191,082	
その他の積立金	154,543	
次期繰越活動増減差額	12,786	
純資産の部合計	1,454,796	
負債及び純資産合計	15,864,431	

資金収支計算書		(単位：千円)
科 目	金 額	
事業活動による収支	事業活動収入	1,264,790
	事業活動支出	1,455,457
	事業活動資金収支差額	△ 190,667
施設整備等による収支	施設整備等収入	0
	施設整備等支出	4,056
	施設整備等資金収支差額	△ 4,056
その他の活動による収支	その他の活動収入	3,512,194
	その他の活動支出	3,457,002
	その他の活動資金収支差額	55,192
予備費支出		0
当期資金収支差額合計		△ 139,531
前期末支払資金残高		726,492
当期末支払資金残高		586,961

事業活動計算書		(単位：千円)
科 目	金 額	
サービス活動増減	サービス活動収益	1,266,494
	サービス活動費用	1,340,388
	サービス活動増減差額	△ 73,894
サービス活動外増減	サービス活動外収益	24,270
	サービス活動外費用	24,775
	サービス活動外増減差額	△ 505
経常増減差額		△ 74,399
特別増減	特別収益	24,043
	特別費用	23,149
	特別増減差額	894
税引前当期活動増減差額		△ 73,505
法人税・住民税及び事業税		0
当期活動増減差額		△ 73,505
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	14,134
	当期末繰越活動増減差額	△ 59,371
	基本金取崩額	0
	基金取崩額	70,000
	その他の積立金取崩額	10,848
	その他の積立金積立額	8,691
	次期繰越活動増減差額	12,786

パートナー634号内容の訂正			
634号5ページに掲載の「令和2年度一般会計資金収支予算総括表」の数字に一部誤りがありましたので、次のとおり訂正します。			
令和2年度一般会計資金収支予算総括表			
(単位：千円)			
事業区分及び拠点区分	当年度当初予算額	前年度当初予算額	増 減
社会福祉事業区分	1,196,097	1,222,233	△ 26,136
1 法人運営事業	228,399	225,595	2,804
2 地域福祉活動推進事業	529,951	556,225	△ 26,274
3 ボランティア活動振興事業	3,152	3,318	△ 166
4 民生委員活動推進事業	11,051	15,131	△ 4,080
5 共同募金配分金事業	10,080	10,000	80
6 社会福祉従事者研修事業	27,688	28,315	△ 627
7 種別協議会事業	67,874	61,622	6,252
8 福祉人材センター事業	89,987	89,901	86
9 社会福祉経営サポート事業	4,960	4,903	57
10 日常生活自立支援事業	120,051	124,538	△ 4,487
11 福祉サービス運営適正化委員会事業	10,564	10,029	535
12 障がい福祉サービス復興支援事業	92,340	92,656	△ 316
公益事業区分	4,126,669	4,178,742	△ 52,073
1 ふれあいランド岩手管理運営受託事業	254,057	233,800	20,257
2 福祉人材確保等貸付事業	536,991	579,086	△ 42,095
3 民間社会福祉事業職員共済事業	3,327,807	3,357,686	△ 29,879
4 福利厚生センター事業	7,814	8,170	△ 356
合 計	5,322,766	5,400,975	△ 78,209

※訂正部分を赤字で表示しています

社会福祉事業経営の支援

● 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業
保育人材を確保するため、専任コーディネーターを2名配置して求人求職等のニーズ把握や保育士の就職相談を行い、求職者及び保育所を支援した。
相談支援1,719件、求人求職マッチング120件、保育所訪問延べ80か所

● 介護人材マッチング支援事業
介護人材を確保するため、県内に7名のキャリア支援員を配置して求職者へのきめ細かな相談支援を行ったほか、施設・事業所訪問による求人開拓と働きやすい職場づくりに向けた指導・助言等を行った。
相談支援2,467件、求人求職マッチング209件、事業所訪問567か所

学校、高等学校等を対象とした「福祉のしごと紹介事業」（出前講座）を18校で実施した。

● 共同受注窓口事業
県内障がい者就労支援事業所の利用者が将来的に地域で自立した生活を営むことができるよう、働きたい気持ちの実現と工賃の向上による所得の確保を目的に、障がい者就労支援事業所製品の販売活動を推進するとともに、役務の受注拡大を促進した。
販売契約61事業所、役務・請負契約71事業所

● 岩手県農福連携総合支援事業
農業分野での障がい者の就労を支援し、

● いわて障がい者就労支援振興センター受託事業
沿岸部障がい者就労支援事業所の業務受注の確保や流通販路の確保・拡大を図ることにより、当該地域の障がい者就労支援事業所の復興に寄与することを目的に、専門アドバイザーの派遣や、事業所の課題に対応した事業所単位での研修会を行った。また、企業、官公庁、消費者に対し事業所自主生産製品のPRや販売イベントの企画、情報提供を行った。

● ふれあいランド岩手の管理運営
開館からこれまでの経験と蓄積されたノウハウを最大限に生かし、効率的な運営と魅力ある事業の企画実施に努めながら、サービスの向上と安全性の高い堅実な施設運営を行った。
指定管理施設の管理運営
マッチング3件

● 水産加工・障がい福祉マッチング事業（新規事業）
水産加工業者と障がい福祉サービス事業所を結びつけ、両者の課題解消を図ることを目的に、水産加工業の作業の中で障がい者福祉サービスの抽出や、障がい者雇用に関心のある水産加工業者の掘り起こしのための研修会を開催した。
新規マッチング14件



※事業報告と収支決算の詳細は、岩手県社会福祉協議会ホームページ（<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>）をご覧ください。

● 組織強化のための取組の推進
経営組織のガバナンスを強化するため、会計監査人を設置した。

県社協の活動基盤の強化

年間利用者数228,966人（年間目標252,000人の91%）

た。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に施設の利用停止及び制限を行った。